

2021年8月15日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第64巻第20号(通算3248号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

主任担任教師・牛田 匡 牧師
担任教師・水谷 憲 牧師
隠退教師・小林 達夫 牧師

しゅうほう 週報

教会標語

かみさま ひと とも
神様がすべての人と共におられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)
<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027
kyuho-church@koinonia.or.jp

郵便振替：00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」
【集会案内】こどもの礼拝：毎日曜 10：15-10：30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝：毎日曜 10：30-11：30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙 5：5)

せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい 聖霊降臨節 第13主日礼拝

れいはい ちゅうけいはいしん
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そ う もくとう ちよさくけんしやうめつ
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん
招きの詞 詩編 34編 9節

さんびか ばん しゅ きやうだんさんびかいいんかい
賛美歌 21-56番「主よ、いのちのパンをさき」(©教団讚美歌委員会)

せいしよ れつおうき じやう しやう
聖書 列王記 上 3章 5-14節

いの ばん なに も
お祈り 賛美歌 21-453番「何ひとつ持たないで」(©JASRAC)

メッセージ 「神さまの四次元ポケット」 向島伝道所・岡嶋千宙伝道師

さんびか ばん うで
賛美歌 21-413番「キリストの腕は」(©JASRAC)

しゅいの ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物 (*)

はけん ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく おかじまちひろでんどうし
祝福 岡嶋千宙伝道師

こうそ ばん ちよさくけんしやうめつ
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほうこく ページ さんしやう
報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 34編 9節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

9 味わい、見よ、主の恵み深さを。

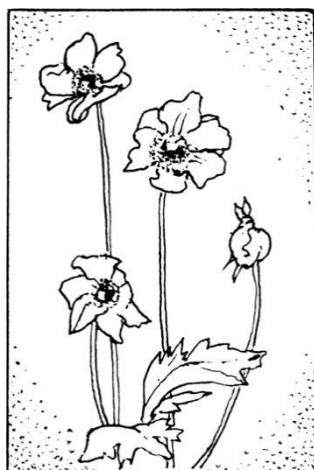
幸いな者、主に逃れる人は。

聖書 列王記 上 3章 5-14節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

5 その夜ギブオンで、主は夢の中でソロモンに現れた。「願い事があれば、言いなさい。かなえてあげよう」と神は言われた。6 ソロモンは答えた。「あなたは、あなたの僕である父ダビデに、大いなる慈しみを示されました。彼が真実と正義と正直な心をもって御前を歩んだからです。あなたはこの大いなる慈しみを守り続け、今日、その座に着く子を与えられました。7 わが神、主よ。この度、あなたは父ダビデに代わって、この僕を王とされました。しかし、私は未熟な若者で、どのように振る舞えばよいのか分かりません。8 僕はあなたがお選びになった民の中の一人ですが、民は多く、その多さのゆえに数えることも調べることもできません。9 どうか、この僕に聞き分ける心を与え、あなたの民を治め、善と悪をわきまえることができるようにしてください。そうでなければ、誰がこの数多くのあなたの民を治めることができるでしょうか。」

10 ソロモンが願ったことは、主の目に適う良いことであった。11 神は言われた。「あなたが願ったのは、自分のために長寿を求めることでもなく、富を求めることでもなく、また敵の命を求めることでもなかった。あなたが願ったのは、訴えを聞き分ける分別であった。12 それゆえ、あなたの言うとおりに、知恵に満ちた聡明な心をあなたに与える。あなたのような者は、前にはいなかったし、この後にも出ないであろう。13 私はまた、あなたが求めなかったもの、富も栄誉も与えよう。生涯にわたり、王の中であなたに並び立つような者は一人もいない。14 父ダビデが歩んだように、あなたが私の掟と戒めを守り、私の道を歩むなら、私はあなたに長寿を与えよう。」

(脚注 a：直訳「出入りのしかたも」)



《先週の礼拝より》8月8日 聖霊降臨節第12主日礼拝

メッセージ「平和の祈り」より

牛田匡牧師

聖書：使徒言行録 20章 17-35節

今回の聖書のお話は、パウロがエフェソの長老たちに別れを告げた際の遺言とも言える場面でした。パウロはこれまでの歩みを振り返りつつ、忠告と励ましを伝え、最後に自身が身をもって示して来たこと、即ち労働と分かち合いを通して神様の力が働くということ、伝えていきます。そこではパウロがイエス様の言葉として「受けるよりは与えるほうが幸いである」(20:35)という言葉を紹介していますが、そもそも人に「与える」ためには、まず自分が人に与えられるだけの何かを持っていないければ始まりません。しかし、ガリラヤ地方の貧しい農民たちと共に、歴史の中を生きられたイエス様には、そのように人に与えられるだけの余裕はありませんでした。仕事がなく、お金がなく、その日の食べ物にも着る物にも事欠くような生活の中で、それでも諦めずに願い求め続けること、そこに神様が共におられて、働かれるということ、イエス様はその言葉と振る舞いを通して、伝えられたのでした。そのために、釜ヶ崎の本田哲郎神父はこの言葉を「受けるより、受けたものを分かち合うことのほうに、神からの力が働く」と訳されています。

私たちにできることは本当に小さく、できないことの方がほとんどです。しかし、そんな自分、持っていない自分、弱い自分を認める所からしか何も始まらないのだと思います。人に与えられるだけの十分なものが、自分にあるわけではありません。この8月には毎年、私たちは「平和」について考えさせられています。世界を平和にしていくための何か特別な力を私たちが持っているわけではありません。しかし、私たちは何か特別なものを持っているから平和を造ることができるのではなく、たとえわずかであっても今受けているものを、互いに分かち合うことで、平和は造られていくのではないのでしょうか。口では「世界の平和を」と言いながら、核兵器を造り続けている世界です。日本は世界で唯一の原爆被爆国でありながらも、未だに核兵器禁止条約に批准していません。この地球を破壊し、人類の生存を不可能にするような核兵器や原子力発電所を何万と保有しながら、その事実には目を向けず、日々の幸せを求める……。この世界はそんな狂った世界です。その狂った世界の中で、私たちは今日も「生きよ」と命を与えられています。何の力があるわけでもない。誰かに何かを与えられるわけでもない。けれども、そんな私たちでも平和を実現するために用いられていきたいと願っています。神様が共に働いて下さることを信じて、私たちは今日も平和の祈りを心から捧げていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



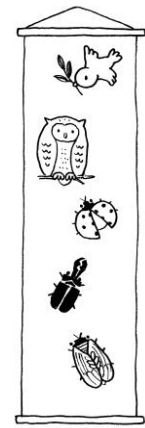
Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 8月8日 聖霊降臨節第12主日礼拝
 礼拝出席 大人4名 子ども 3名 (中継動画再生数14回)
 献金 大人5,000円 子ども600円 感謝
 聖書を読む会(創世記31章) 参加者 4名



◎次週 2021年8月22日(日) 聖霊降臨節第14主日礼拝
 招きの詞 ローマの信徒への手紙 8章 22, 24-25節
 聖書 マタイによる福音書 13章 24-43節
 メッセージ「見えないものに目を注ぐ」牛田匡牧師
 賛美歌 53番(©P.D.)、225番(©P.D.)、199番(©JASRAC)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大阪府にも再び「緊急事態宣言」が出されています(8月31日まで)。ご自身が感染しないためにも、また他人に感染させないためにも、そしてまた逼迫している医療現場をこれ以上崩壊させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では換気やマスク着用など感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる際には、ご自身の体調にご注意いただき、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・8月29日(日)14時~16時に、沖縄の「慰霊の日に思いを馳せ、沖縄とつらなる集い」が開催されます(主催:大阪教区沖縄交流連帯特別委員会)。東梅田教会で開催される予定でしたが、大阪府に緊急事態宣言が出されていることから、ZOOMを利用したオンラインでの配信のみとなりました。

参加費は無料で、昨年公開された映画「ドキュメンタリー沖縄戦 知られざる悲しみの記憶」

(太田隆文監督・105分間)が上映されます。

参加を希望される方は、8月26日(木)までに、

aoi24aoi24aoi24@yahoo.co.jp

電話 06-6692-6492 (大阪昭和

教会・森口牧師)にまで、

事前にお申し込みください。



◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
8/22	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	おにぎり支援
8/29		牛田牧師	誕生者祝福式
9/5		牛田牧師	ユークリフト・教会を考える会
9/12		水谷牧師?	

第11回「慰霊の日に思いを馳せ、沖縄とつらなる集い」
 沖縄交流連帯特別委員会
 2021年7月18日

主のお名前をあげます。
 1972年の「本土復帰」から49年、沖縄は「基地のない平和な島」を求めてきました。しかしながら、現在も在日米軍専用施設の約割が沖縄県に集中し、基地負担の軽減どころか、辺野古には普天間基地の代替施設として新しい基地が建設されることとなっています。(かたきまを語りて 見送りの日に想ゆる島 沖縄よ、後と我らの祖先が血と汗を流して守り育てた沖縄よ、と歌う沖縄を返せ)の歌、沖縄戦を体験し、「人間が人間でなくなる」悲劇を体験した沖縄の人々にとって、これ以上の基地建設はさらなる「捨て石」に他ならず、到底受け入れることができないものです。辺野古新基地の建設が始まってから、辺野古大浦湾にはマダマキのような生態地帯があることがわかり、世界でも前例のない生態改変が必要となったにもかかわらず、そしてなにより沖縄の人々の平和を願う思い、これ以上の基地はいらないという声があるにもかかわらず、それら一切を無視して政府は新基地建設を止めようとしません。現状はさらに、沖縄戦の激戦地にて亡くなった方々の遺骨が眠る土砂を、辺野古新基地建設の礎の立に使うという政府の計画に、怒りと中止を求める声が高まっています。その声を聴き、責任を持って返答の声をあげばならないのは、わたしたちです。

2021年6月23日の「沖縄慰霊の日」を覚え、今年の第11回「慰霊の日に思いを馳せ、沖縄とつらなる集い」は「ドキュメンタリー沖縄戦 知られざる悲しみの記憶」(2020年公開、太田隆文監督、1時間45分)の鑑賞会を行うことになりました。わたしたちが思うべき課題を改めて教えられたと願います。

記
 日時 2021年8月29日(日)午後2時~4時
 場所 日本基督教団東梅田教会、ならびZoom配信

- ・但し、当大阪府下に新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が出されている場合はZoom配信のみになり、ご来場いただくことはできません。
- ・参加費 無料
- ・参加される方は、事前にお申し込みください。(8月26日まで)
 ①お名前 ②電話番号
 ③会場またはZoom、どちらの参加を希望するかを明記し、
aoi24aoi24aoi24@yahoo.co.jp (大阪昭和教会窓口)までご連絡ください。
 お問い合わせ: 06-6692-6492または070-5345-7378
- ・会場では沖縄教区互働へお送りするため献金の時間を設けています。
- ・また、新型コロナウイルス感染症感染予防対策を講じながら行います。